

FT-仕様-第 24001 号

2025 年 3 月 18 日

各種ケーブル・配管貫通部防火措置材  
「ロクマックス丸穴大開口用 Z・C 金具セット」  
仕様書

株式会社古河テクノマテリアル

## 1. 製品概要

本製品は、各種ケーブル・配管貫通部防火措置キット「ロクマックス壁用キット」等を使用し、主にφ200mm を超える丸穴大開口への施工の際に、ブロックを支持するために使用する金具です。



- 本製品のみでは認定工法になりません。  
必ず別売の「ロクマックス壁用キット」、「ロクマックス床用キット」等と組合せてご使用ください。
- 「ロクマル」の耐火ブロック及びロクマルマットは、併用・混在できません。
- 「ロクマックス丸穴キット」は、併用・混在できません。

## 2. 性能

### 2.1 国土交通大臣認定

本製品は、「ロクマックスブロック」や「ロクマックスボード」等と組み合わせて使用することで、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項(同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ「防火区画貫通部 1 時間遮炎性能」の規定に適合するものとして、国土交通大臣認定を取得しています。

## 3. 品番および構成材料

本製品の品番と構成材料を表-1 に、構成材料の仕様を表-2 に示します。

表-1 品番および仕様

| 品番    | 構成材料               |             | 販売単位<br>(箱) |
|-------|--------------------|-------------|-------------|
|       | 丸穴大開口用 Z 金具<br>(本) | C 金具<br>(本) |             |
| RXMZC | 4                  | 2           | 1           |

表-2 構成材料の仕様

| 名称             | 仕様 |                            |
|----------------|----|----------------------------|
| 丸穴大開口用<br>Z 金具 | 用途 | 床工法でロクマックスボードを支えるために使用します。 |
|                | 材質 | 熔融亜鉛メッキ鋼板(JIS G 3302)      |
|                | 寸法 | 図-1 参照                     |
| C 金具           | 用途 | 床工法でロクマックスボードを支えるために使用します。 |
|                | 材質 | 熔融亜鉛メッキ鋼板(JIS G 3302)      |
|                | 寸法 | 図-2 参照                     |

#### 4. 梱包

梱包仕様を表-3 に示します。

表-3 梱包仕様



| 品番    | 梱包数<br>(組/箱) | 梱包箱寸法(外寸、mm)<br>長さ×幅×高さ | 梱包質量<br>(kg) |
|-------|--------------|-------------------------|--------------|
| RXMZC | 1            | 201×91×56               | 0.4 kg       |

#### 5. 注意事項




- 本製品のみでは認定工法になりません。必ず別売りの「ロックマックス壁用キット」、「ロックマックスボード」等と組み合わせてご使用ください。
- 「ロクマル」の耐火ブロック及びロクマルマットは、併用・混在できません。
- 作業時は適切な保護具を使用してください。
- 作業後は手洗いを十分に行ってください。
- 本製品は、一般屋内用です。屋外やそれに準じた環境下でのご使用はおやめください。
- 防水機能はありません。
- ケーブル、配管の支持機能はありません。別途支持してください。
- 防火措置材は、隙間が出来ないように丁寧に施工してください。
- 床または壁貫通部の周囲に可燃物を置かないでください。
- 特殊な環境下で使用される場合は、事前に弊社または行政・確認検査機関にご相談ください。
- 工法表示ラベルは、弊社 HP にてご請求ください。
- 保管に関しては、直射日光を避け、子供の手の届かない室内に保管してください。








## 6. 安全に関するご注意

ご使用前に必ず、この「安全に関するご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

|   |   |
|---|---|
|  <b>警告</b> | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。        |
|  <b>注意</b> | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

◆ 図記号の意味は、次のとおりになっています。

|   |                      |
|---|----------------------|
|  <b>注意</b> : | 気をつける必要があることを表しています。 |
|  <b>禁止</b> : | してはいけないことを表しています。    |
|  <b>指示</b> : | しなければならないことを表しています。  |

|   |   |  |
|---|---|--|
|  <b>警告</b> |  | 床大開口部施工後は踏み抜きに注意してください。貫通部防火措置部の上に乗ったり重量物を置かないでください。 |
|   |   | 子供・幼児の手の届くところに材料部材を置かないでください。                        |
|   |   | 単心の電力ケーブルが貫通する場合は周囲に鉄系の金具を配置しないでください。                |
|   |  | 最大開口面積または直径以下で施工してください。                              |
|   |   | ケーブル等の貫通物種類および貫通物占積率は取扱説明書および認定書・評定書に従ってください。        |
|   |   | 取扱説明書または認定書・評定書に従って施工してください。                         |
|   |  | 貫通部防火措置部の仕上がり時は隙間のできないように施工してください。                   |
|   |   | 液体状のものを扱う場合は保護めがねを着用してください。                          |
|   |   | 繊維状または粉状のものを扱う場合はマスクおよび保護めがねを着用してください。               |
|  <b>注意</b> |  | 床または壁貫通部の近傍に可燃物を置かないでください。                           |
|   |   | 耐熱シール材等のパテを扱う際は保護具を着用してください。                         |
|   |   | 金具を扱う場合は保護具を着用してください。                                |
|   |  | 特殊な環境下で使用される場合は事前に相談ください。                            |
|   |   | 材料は貫通部以外の部分に使用しないでください。                              |
|   |   | 防水性が要求される場合は別途施工してください。                              |
|   |   | ケーブルまたは配管類の支持機能はありません。別途固定支持してください。                  |
|   |   | 施工完了後は工法表示ラベルを表示してください。再施工時も工法表示ラベルを更新してください。        |

## 7. 免責事項

- (1) 防火区画貫通部防火措置が認定または評定通りの耐火性能を得るためには、施工品質が大変重要になります。これらを施工するにあたり、認定・評定条件、施工方法をよくご理解いただき、施工者及び建物管理者の責任において施工及び維持管理していただきますようお願い致します。
- (2) 以下のような場合において問題が生じた場合、当社として責任を負いかねますのでご了承ください。
  - ① 認定・評定条件以外の施工を行った場合(個別の取り決めに依る仕様は除く)
  - ② 弊社指定以外の材料を使用した場合
  - ③ 本来の使用目的以外に使用した場合
  - ④ 再通線、改修工事などにおいて、不適切な施工により問題が生じた場合
  - ⑤ 「安全に関するご注意」を守らなかった場合
  - ⑥ 適切な維持・管理が行われていない場合
  - ⑦ 通常の経年変化(使用に伴う消耗、磨耗など)や経年劣化、またはこれらに伴うほこりによる仕上がりの変化の場合
  - ⑧ 周辺環境に起因する場合(例えば、酸性・アルカリ性のガス、異常な高温・低温・多湿、結露など)
  - ⑨ 躯体の変形など、製品以外の不具合に起因する場合
  - ⑩ 犬、猫、鳥、鼠、蛇などの小動物・昆虫やツルや根などの植物に起因する場合
  - ⑪ 犯罪、いたずらなどの不法な行為に起因する場合
  - ⑫ 戦争・紛争・天災その他の不可抗力による場合(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、など)
  - ⑬ 実用化されている技術では予測不可能な現象、またはこれが原因による場合

## 8. その他

本仕様書記載の内容は、製品改良などのため、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

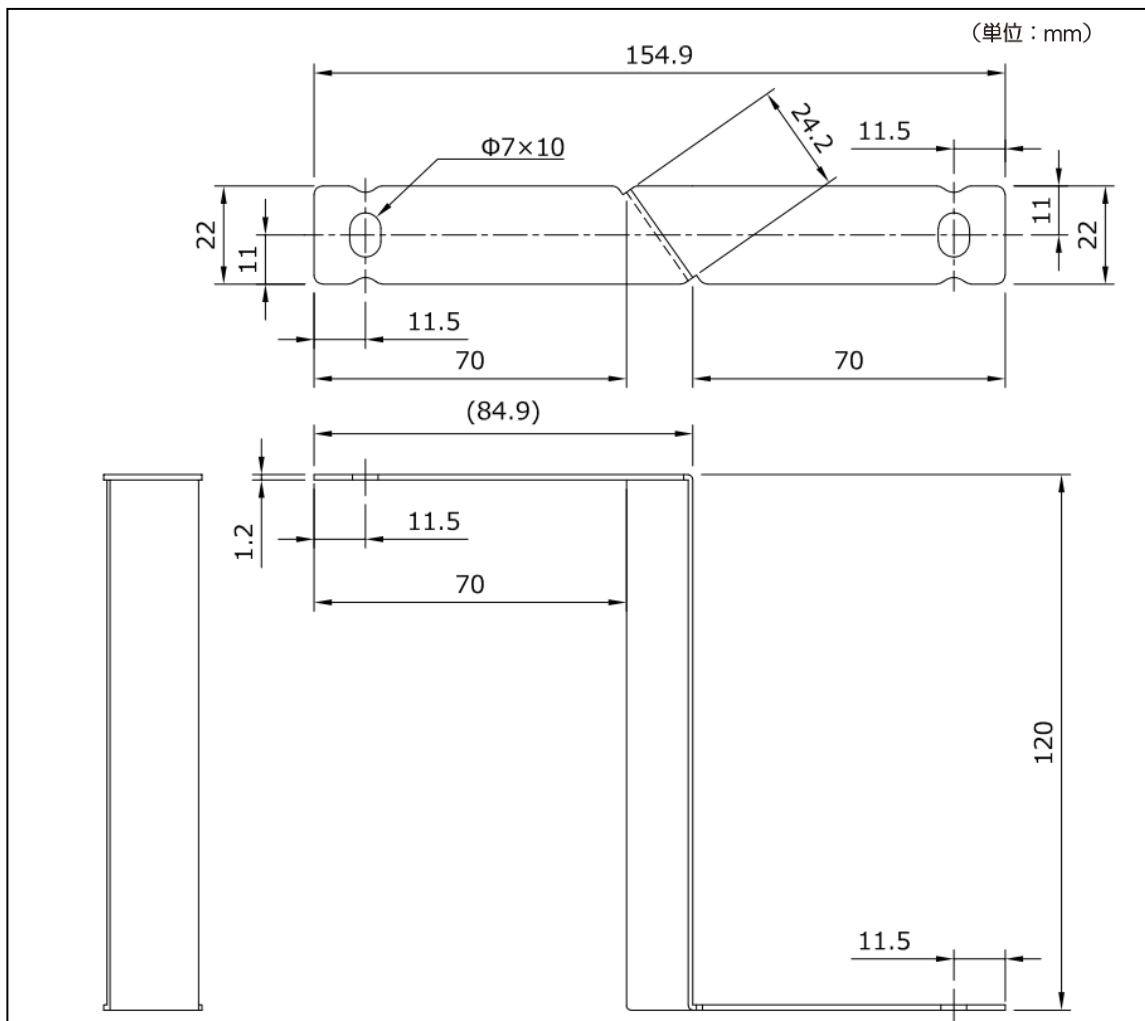


図-1 丸穴大開口用 Z 金具の形状・寸法

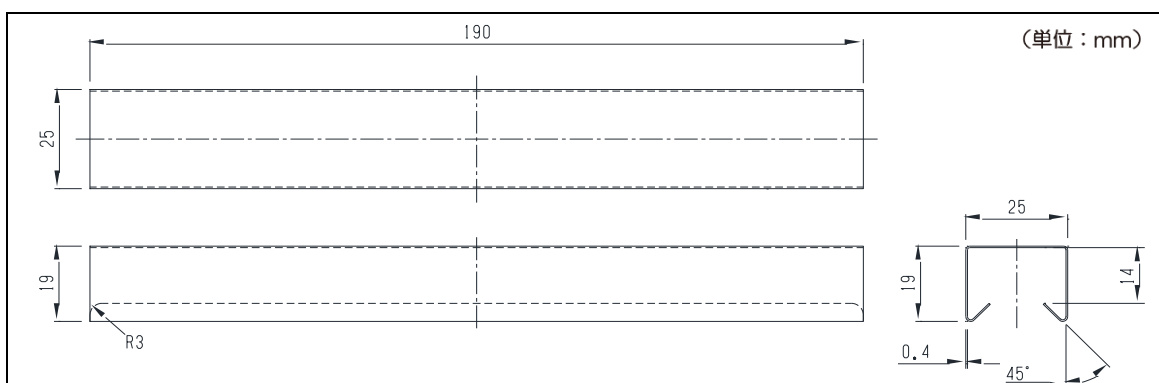


図-2 C 金具の形状・寸法

以上